

会議録

- 1 会議の名称 第6回熊取町公共交通会議
- 2 開催日時 令和4年8月4日（木） 15時30分から16時30分まで
- 3 開催場所 熊取町役場北館3階 大会議室
- 4 議題 議事（1）熊取町 AI オンデマンド交通実証実験の再実施について
議事（2）公共交通ワークショップについて
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1名
- 7 審議等の概要

議事（1）熊取町 AI オンデマンド交通実証実験の再実施について

- ・熊取町 AI オンデマンド交通実証実験の再実施内容について、事務局から説明を行った後、委員の皆様にご質問、ご意見をいただきました。

議事（2）公共交通ワークショップについて

- ・公共交通ワークショップについて、事務局から説明を行った後、委員の皆様にご質問、ご意見をいただきました。

【委員からの質問・意見】

○熊取町 AI オンデマンド交通実証実験の再実施について

- ・今後さらにコロナの感染者が増える可能性があるが、実証実験再延期の予定はあるか。
→現時点で予定の変更は想定していないが、どこかの時点で判断は必要と考えている。
- ・説明機会の増加やわかりやすいチラシの作成など、前回会議の意見がよく反映されている。
- ・一部の実施地域の長生会からは実証実験実施を楽しみにしているという声を聴いている。
- ・利用方法について不安に感じている声もあるため、実施地区、特に高齢者への更なる周知をお願いしたい。
- ・高齢者にとってネット予約（24時間予約可）は難しく、電話での予約が主になると思うが、高齢者が利用し易いように電話予約の対応時間（9時～17時）をのばせないか。
→交通事業者と調整した結果の対応時間であり、費用の関係もあるため、変更は難しい。
→予約は7日前から可能なので、都合の良い時に予約してもらいたい。

→今後、本格運行となった場合は、利用し易い受付時間帯の検討は必要と考えている。

- ・公共交通でクラスターは一切発生しておらず、公共交通は安全であり、外出が危ないという認識を改める発信を行う方が良い。

○公共交通ワークショップについて

- ・2班に分けて実施とあるが、一般公募住民を3名（奇数）とした理由を教えてください。
→校区福祉委員、民生委員児童委員を各校区毎に選定すると5名（奇数）となるため、全体として偶数となるように一般公募住民を3名としている。
- ・一般公募の応募が多数あった場合、どのように選定するのか。
→募集チラシに記載のとおり「公共交通をよく利用している方、公共交通を直接的に必要としている方」を優先することとし、応募用紙の記載内容をふまえて判断する。
- ・学生は大学生を学校から推薦してもらうのか。
→その予定である。ただし、一般公募は高校生以上としている。
→一般公募で大学生から応募があった場合に学生枠として扱い、一般応募者を他で3名とする等、一般公募の状況により変わることも想定される。
- ・現状の公共交通をよく知る交通事業者が参加し、直接話をすることはできないか。
→公共交通利用者の声を聴くことを主目的としているため、交通事業者の参加は今回想定していない。本会議で結果を報告する予定なので、その際にご意見をいただきたい。
→第1回ワークショップで予定しているミニ講演において、公共交通の現状説明を行い、要望陳情を聴くだけでなく、持続可能な公共交通をどうしていくかというところまで、色々意見をもらいたいと考えている。
- ・公共交通を利用しない方の声を聴き、原因把握・問題解決をしないと利用者増加は見込めないように感じる。
→一般公募は公共交通利用者に限定したものではなく、公共交通を必要としている方にも参加してもらいたいと考えている。
- ・コロナ対策のため人数を制限する考えもあると思うが、多くの方に参加してもらいたい。
→昨年実施の公共交通アンケートにおいて、公共交通について実現が難しい意見を多くいただいた中で、今回は対象者を絞って意見を聴きたいと考えている。
→参加者12名という人数に固執しているわけではないが、参加者が多いと収集がつかなくなるのが想定されるため、人数については応募状況をふまえて判断したい。
- ・ワークショップと実証実験の結果については、次回会議でまとめて報告があるのか。
→本会議で報告することになるが、報告時期については検討する。

8 審議会の情報	名称	熊取町公共交通会議
	根拠法令等	熊取町公共交通会議設置要綱
	設置期間	令和3年5月14日～
	所掌事項	熊取町公共交通に関すること
	委員数	9名

9 担当課 道路公園課